



『東北圏だより』



新潟県ドクターヘリの運航開始について

新潟県

新潟県ドクターヘリは、平成24年10月30日から本格運航を開始しました。東北圏では5番目の導入になります。

ドクターヘリは、救急現場に救急専門の医師を急行させ、治療開始時間を短縮することにより、救命率の向上等を図るものです。

離島や中山間地を多く抱える新潟県では、最寄りの救命救急センターに搬送するまでかなりの時間を要する地域もあるため、ドクターヘリが大きな効果を発揮するものと期待されています。

10月31日、ドクターヘリは初めて出動し、脳卒中で倒れた傷病者を搬送しました。11月30日までの32日間で、30件の出動要請を受けています。



新潟県ドクターヘリの基地病院は、新潟大学医歯学総合病院（新潟市中央区）で、午前8時30分から午後5時30分（または日没）まで、新潟県全域を対象として運航します。

ドクターヘリの離着陸場所（ランデブーポイント）は、消防本部をはじめ、市町村や国の皆様の御協力をいただき、県内約700箇所を確保しています。

なお、ドクターヘリで診療した患者の搬送先となる搬送受入病院は、県内21の医療機関から御協力をいただいています。

今後は、運航実績を踏まえ、より円滑かつ効果的な運航体制の構築を目指してまいります。高速道路上での離着陸や近隣県との連携など、新潟県だけでは解決できない課題もあります。関係者の皆様方の御理解と御協力をいただければ幸いです。

第22回 東北圏広域地方計画協議会 検討会議 幹事会の開催報告

第22回東北圏広域地方計画協議会検討会議幹事会が11月20日（火）に仙台第4合同庁舎共用会議室にて開催されました。

今回の幹事会では、昨年度から作業を進めてまいりました変更計画について、協議会構成員の皆様からこれまでいただいた意見をはじめ、各県の復興計画、有識者の意見、その他重要な政策等を集約してまとめた変更計画素案を構成員の皆様に提示し、意見提案の依頼が行われました。

それに先だって、平成24年10月16日で任期が満了となった東北圏広域地方計画協議会会長について、社団法人東北経済連合会会長が再任された旨、報告されました。

次に、8月の前回の幹事会以降、有識者会議や主な市町村の首長に対するレク等を行っており、その経過報告を行いました。9月4日の開催された第3回東北圏広域地方計画変更に関する有識者懇談会については、各委員からの発言内容について事務局から説明されました。

また、5月に市町村説明会が東北圏7県のご担当者様の協力のもと開催されたところですが、その後、市町村から提案していただいた意見と現段階の計画変更素案との対応について説明されました。

同様に前回の幹事会場で計画変更にあたり「新たに追加すべき広域連携プロジェクト及び具体的取組内容」と「既存の13のプロジェクトにおいて追加すべき具体的取組内容」について各構成機関からの提案の依頼をさせていただいておりましたが、いただいた提案と現段階の計画変更素案との対応について説明されました。

続いて、計画変更のポイント及び概要の説明が事務局より行われました。東北圏の現状と課題、東北の強み、東日本大震災を踏まえた検証・点検結果による12の課題、有識者懇談会における東北圏発展の論点から導き出される3つの柱立てと計画変更に盛り込むべき主要な施策である5つの重点事項について概要の説明を行い、現時点での計画変更素案を提示しました。



▲ 第22回 幹事会の模様

構成機関の皆様には大変お忙しいところご出席いただき有り難うございます。今年も残りわずかになってきましたが、皆様からの意見を頂戴し、素案作成に向け、頑張っていきたいと思っております。

構成機関の皆様には大変お忙しいところご出席いただき有り難うございます。今年も残りわずかになってきましたが、皆様からの意見を頂戴し、素案作成に向け、頑張っていきたいと思っております。

最後に今後のスケジュールについて、市町村に対する計画提案の募集、省内・各府省への素案の意見照会を経た後、幹事会、検討会議、協議会にて原案を確定し、パブリックコメントを経て国土交通大臣決定へと進んでまいります。

第4回東北圏広域地方計画変更に関する有識者懇談会を開催しました

東北圏広域地方計画協議会では、東日本大震災の発生を受けて東北圏広域地方計画の変更を行うべく鋭意作業を進めており、去る11月30日（金）東北地方整備局大会議室において「第4回東北圏広域地方計画変更に関する有識者懇談会」を開催いたしました。

事務局より計画変更のポイント（案）及び計画変更の概要（案）について説明を行い、柴田座長により議事が進められました。

各委員からは

- ・計画変更のポイント（案）及び計画変更の概要（案）について、非常によくまとめられている。
- ・最終的に冊子になると思われるが、震災に関連した図表が1つ、2つあるとインパクトがあると思われる。
- ・「災害リスクを軽減する防災力の強化」の項目では、極端な事象の災害（茨城県つくば市で発生した竜巻被害や、台風による豪雨など）への対応についても盛り込んで欲しい。
- ・再生可能エネルギーのなかでは、特に木材を利用した取組を記載して欲しい。
- ・計画を立てた後の各プロジェクトの進捗について定期的にチェックすることが必要である。

等、様々な意見が出されました。

有識者懇談会は今回をもちまして終了し、今後は具体的な計画書の書き込みの中できるかぎり反映させていきたいと考えております。



▲ 第4回 有識者懇談会の模様

編集後記

11月20日に幹事会、30日は有識者懇談会と立て続けに開催し、構成機関の皆様には大変お忙しいところご出席いただき有り難うございます。今年も残りわずかになってきましたが、皆様からの意見を頂戴し、素案作成に向け、頑張っていきたいと思っております。

構成機関の皆様におかれましては、風邪など引かずに年末を迎えられますよう、御自愛願います。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp